



2014-2015 年度 RI テーマ



RI 第 2 6 1 0 地区

東となみロータリークラブ会報

2014-2015 年度 No.31

事務局 〒939-1635 富山県南砺市福光 7336-4 福光会館 3F

ふくみつ光房内 TEL 0763-53-1333 FAX 0763-53-1334、

inashorc@athena.ocn.ne.jp

2014-2015 年度 会長 坂井彦就 、幹事 岩崎 修

Light Up Rotary

「ロータリーに輝きを」

(ゲイリー C.K. ホアン会長)

~~~~~

## 例 会 記 錄

### 第 1 7 5 6 回例会

平成 27 年 2 月 4 日(水) PM0 : 30

よいとこ井波

1. 点 鐘
2. 国歌「君が代」斉唱
3. ソング：奉仕の理想
4. ゲスト：リバレ・ニコラ・クロードさん(フランス・ブルターニュ州出身：『スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド』プロデューサー



5. 月結婚記念日：得永会員(11 日)河合会員(24 日：欠席)



6. 月誕生日：坂井会員(13 日)高瀬会員(14 日)
7. 会長時間：ニコラさんようこそ、フランスの方でこちらに来られて 15 年、奥さん共々お住まいであります。本日の卓話よろしくお願ひします。後程、理事会報告

でもあります、今日の理事会で長田正勝さんの入会について理事会において承認されました。18日の例会には 20 人の会員として出席いただけるのではないかと思っています。当初の目標は 19 名からスタートして残念ながら助田会員が亡くなられ 18 名となりましたが、齊藤美華子さんに入会いただき 19 名に戻り、今回の長田さんの入会で 20 名となります。当初目標の 22 名にはあと 2 名ですので、皆さんにはもう一度声をかけられた人に説得していただきたいと思っています。次の 18 日の例会で出席の関係と会員拡大のお話を齊藤彰会員のほうでお願いしたいと思います。



前回の例会後の出来事ですが、浅野総一郎の九転十起の会が氷見にありまして、浅野総一郎さんの親戚で山崎健さんと言う方が 5 ~ 6 年前から活動をされています。横浜や川崎といった縁の地と接触されておられ、各地で寒ブリの時期に「ブリ会」と称して回っておられます。私どものところは砺波支部ということで私が会長をしております。先月の 28 日の 3 時からブ

リ会を行いました。約40名の参加であり、県会議員の方も多数来ておられました。観光という切り口も大きいわけですが、それ以外に企業誘致という面があります。日本鋼管と川崎製鉄とが経営統合したJFEスチール㈱がありますが、もともとは浅野總一郎が創立した浅野造船所が前身であります。そういった関係で山崎さんが仲介されて企業誘致のチャンスを模索しておられます。観光以外の面でも発展していくべきなと思いましたし、新幹線の開業もチャンスに出来たらと思います。私ごとですが、2月22日に新幹線の試乗会があり招待状がまいりました。新高岡駅から上越妙高駅までの往復乗車する予定であります。また、県の観光関係の行事として2月5日～8日まで、大宮までの区間で観光宣伝を行うことになっています。なお、18日の例会にはガバナー補佐が来場される予定となっています。

8. 幹事報告：①理事会報告：先程の会長の話の通り、長田(おさだ)正勝氏【長田(ながた)神具店代表】の入会が承認されました。次回例会までに、異議がなければ入会が承認されます。②「R財団ニュース」各テーブルに配布。2015年2月のロータリーレート。1\$=118円。③IMの案内：集合時間等確認を。④確定申告の用紙を各自に配布しました。御確認下さい。⑤2016-17年度岡部ガバナーノミニーから、地区大会協力要請がありました。開催場所は砺波ロイヤルホテル予定。⑥2/18の例会に、ガバナー補佐が来会予定です。⑦例会の変更については、事務局に確認の事。

9. 出席報告(齋藤委員長)：先週、68.42%、本日、19名中13名、72.22%です。

10. 委員会報告：①国際奉仕委員会(水島委員長)：書き損じ葉書を集めます。2月20日まで。

11. ニコニコBOX(SAA：本日6名)

坂井会員：新入会員予定者、長田さんが理事会で承認されました。これで20名になる予定です。目標まであと2名です。宜しくお願ひします。

高瀬会員：誕生祝い有難うございます。齢を重ねる毎に仏法の喜びが深まっていき、前途洋洋です。

河合会員：結婚41年目でした。

水島会員：今日は国際奉仕月間です。今日、卓話にへ

リオスに勤めているリバレ・ニコラ・クロードさんにお願いしました。彼から見た日本について語っていただきます。宜しくお願ひします。

中島会員：今日は立春です。昨夜は孫が豆まきを行い、邪気(邪鬼)を払いました。ゲストのニコラさん、ようこそ。お話を楽しみにしています。

山本武夫 SAA：リバレ・ニコラ・クロードさん、ようこそ。先週末、上山見公民館で合宿した、富山北部女子剣道部が庄川清流杯北信越高校剣道新人大会で3年ぶりの準優勝しました。娘達以来です。明日、人間ドッグです、ご飯を控えめに、お新香1枚にしました。

## 卓話『スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド』

リバレ・ニコラ・クロード氏



水島会員：今日は国際奉仕ということで前々から一度お呼びしたいと思っていましたので、本日来ていただきました。1977年フランス生まれであり、高校時代に何度か訪日され、大学に入ってからも行ったり来たり交流をしておられました。日本が好きだということもあり大学卒業後も日本におられ、砺波の方の知り合もおられた関係で、当時のスキヤキ関係の募集に応募されたわけです。その後15年にわたって福野で生活をしておられます。彼から見た日本について話をしていただけたらと思っています。



**ニコラ氏** 皆さんこんにちは、日本に来て15年になります。未だに尊敬語の扱いが上手ではありませんのでお許しください。大学の時に日本の大学に来ていた時、日本の友達がたまたま砺波地区の人でした。当時は1年でもいいので日本で仕事がしたいと思っていましたが、たまたまヘリオスで舞台照明と企画関係の職員募集があり応募しました。それ以来、市の嘱託職員として毎年1年契約を続けています。担当していた米田氏が異動で代わったことにより企画の仕事に就くこととなりました。15年福野に住んでいて結婚して子供が2人、幸せな日々を送っています。当地区と深い縁があったのではないかと思っています。今日はスキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドの話をしたいと思いますが、スキヤキの特長としては、150人のメンバーが市民と一緒に1年を通して活動しています。南砺市民は半数くらいで、あとは高岡、氷見、金沢市からの普段なかなか出合えない大学生から退職した世代の人まで幅が広いメンバーです。スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド自体は8月の3日間というイメージが強いですが、3会期に分かれています。事前会期、本会期、事後会期となっており事前会期は6月からで外国から講師を呼んで講習を重ね発表する。本会期は、海外からのアーティストによるライブステージやワークショップを始めとする異文化交流。事後会期では、スキヤキで作り上げたパフォーマンスを海外に紹介する。最近は30公演くらいで世界中に発信しています。終わっても反省会をし、直したいところをリストアップとともに12月には予算をたてて市にお願いしています。12月末からはアーティストとの交渉を始めます。スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド、今はプロモーターを通していません。すべて直接交渉しています。最初はプロモーターを通していましたがどうしてもコストが高くつく。どんなアーティストを呼ぶのか、最初はヨーロッパのワールドミュージックで流行っている人

を呼んだりしましたが、最近は、それぞれの地域に根付いているアーティストを中心に交渉しています。日本には同様なフェスティバルが少ないので今では世界的に有名になっています。全国紙でも度々取り上げられています。また、海外からのお誘いもよく来るようになってきています。

スケール的には決して大きくはありませんが、全てのアーティストにワークショップをしてもらい、一部のアーティストはホテルではなく空家に滞在してもらっています。日本の生活を体験してもらっています。近くのスーパーを利用し、子どもたちとも会話をするようになっています。スキヤキから生まれたパフォーマンスは東京で公演しても一味違うとよく言われています。それは特別なパフォーマンスが生まれているからです。昨年は空家を3軒借りて、日中はワークショップをし、夜は一般市民の方と交流を行いました。昨年は80本のワークショップを行ったお陰もあり、お客様が沢山集まりました。日本の多くの所では集客に苦労していますが、3日間で11,000人くらいの来客がありました。地元の皆さんのがんばりますが少しずつ県外客も増えてきています。今後の話をしますと、どうやって各地域、各町のアイデンティティを育て、どんなふうに守るのか、企画して子供たちと何かをする、地区内の縁を強くする、音楽の世界だけでなく深くかかわりを持つにはどうしたらよいか。ゲストの意見を取り入れるには時間がかかる。最近はなるべく市民との交流を通して新しい文化の創造に心がけています。6団体で組織していますが、小学校にもスティールドラムのクラブがあります。もっと交流の機会を増やしていくたいと思っています。以上が大まかなスキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドの内容ですが、質問があればお答えしたいと思います。



『ここから質問コーナーとなる』

質問（坂井会長）奥さんは日本人ですか。

答え（ニコラ）はいそうです。結婚して7年たちます。

質問（坂井会長）アーティストの交通費やキャラなどですごくお金がかかると思うが、どのようにしているのか。

答え（ニコラ）スキヤキが終わった後のネットワーク公演や東京公演時には当然収入をいただくことになります。例えば海外からのアーティストに係る経費を東京公演と半々にするとか、単独公演でなく複数公演と言うことで費用の分担を行っています。

質問（坂井会長）総予算はどのくらいですか。

答え（ニコラ）昨年の総予算は2500万円で、市から1000万円を頂いており、昨年は名古屋、沖縄、東京、韓国でも公演をおこなっています。

質問（岩崎会員）昨年、大きな人形がありましたが、現地から持ってこられたのか。

答え（ニコラ）2体あります。1体は向うから持ち込まれ、1体はこちらで製作しました。

質問（山本会員）期間中のスタッフは何人くらいですか。

答え（ニコラ）全体で約250名です。コアメンバーは30～40名います。班に分かれて仕事をしています。南砺市民が半分くらいで、後は他の地区からと大学生であります

質問（坂井会長）ワークショップの内容ですが、市民の方とアーティストで行われているのですか。

答え（ニコラ）一番多いパターンは海外からの講師が10回～15回のコースを行います。事前に譜面をいただいて講師がいなくても学習できる内容もあります。

質問（岩崎会員）空家を3軒借りているということですが1年中借りているのですか。

答え（ニコラ）いいえ1か月半程で毎年ハウスが変わります。ホテルで泊まるよりコストダウンになります。

質問（坂井会長）毎年来られるアーティストは何人ほどですか。

答え（ニコラ）毎年人数は違いますが、100人近くになります。

質問（小西会員）スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールドの名前の由来は何ですか。

答え（ニコラ）スキヤキソングからとったものです。

質問（水島会員）4月からヘリオスも指定管理に変わりますが、ニコラさんは『MHIRIPIRI PRODUCTION』というイベント会社を立ち上げることになっていますので、皆さんよろしくお願いします。

答え（ニコラ）よろしくお願いします。どうもありがとうございました。

